

学校法人 滋慶コミュニケーションアート 名古屋ECO動物海洋専門学校 学校関係者評価委員会 評価シート

【2023年7月24日実施】

2022年度自己点検自己評価(2022年4月1日～2023年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		総括と課題	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定まっているか	3		「学校法人滋慶学園グループ」昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことを目的に、全国に専門学校・教育機関を設置し、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育・人間教育・国際教育)を実践することで、「4つの信頼」(学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼)を得るコンセプトを掲げ、業界に必要な人材を業界と共に育成してきた。医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡、ニューヨークまで88校を有する。	「学校法人滋慶学園グループ」昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことを目的に、全国に専門学校・教育機関を設置し、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育・人間教育・国際教育)を実践することで、「4つの信頼」(学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼)を得るコンセプトを掲げ、業界に必要な人材を業界と共に育成してきた。医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡、ニューヨークまで88校を有する。	3.00	地元の小川公園の活用も検討をしてください。ホテルの企業プロジェクトは継続して取り組んで欲しい。企業との関係を太くして欲しい。現場を通してプロジェクトを組むことは素晴らしいと思っています。実践教育をして社会を学ぶことは一番スキルアップすると思っています。ミッション・ビジョン・ポリシーが運動をし、ふれることなく具体的なカリキュラムに反映されている。
	1-2 学校の特徴は何か		「実学教育」スペシャリストが求められる時代に即し、業界に必要な人材を業界と共に育成する専門学校として、即戦力となる知識・技術・現場力を教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築してきた。				
	1-3 学校の将来構想を抱いているか		「人間教育」キャリア教育の一環として、開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え・気構え・心構えを養成する。				
2 学校運営	2-4 運営方針は定まっているか	3	滋慶学園グループが計画する5か年計画を受け、各校は具体的に各年度事業計画書を作成し、その中で5年後の将来像構想を描いている。	事業計画書は、学校におけるすべての部署(広報・教務・就職)について考えられ、また、すべての部署が同じ方針・考え方を理解し、徹底している。	3.00	地域への情報発信とSNS活用をもっと積極的に行ってください。学校運営のシステムがしっかりと構築されては優れていると思いました。	
	2-5 事業計画は定まっているか		社会(諸環境)の変化に対応できるように、滋慶学園グループの示す毎年の長期・中期・短期展望を基に、滋慶COMグループに属する各学校が、短期事業計画を毎年作成している。この事業計画書が各学校における運営の核となるものである。事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ている。	学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通して、個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行い、また常に方向性、位置づけ等を確認できるシステムを構築している。			
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか		事業計画においては、グループ全体の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々についてが明確に記載されている。	第1のシステムは入学前自己発見-自己変革-自己確立という、自己段階教育と動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。			
	2-7 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか		運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。単年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。	第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識・ビジネスマインド等を身につけるための教育システム「産学協同教育システム」である。これには、次の8つが挙げられる。①企業プロジェクト②ダブルメンジャーカリキュラム③業界研修④海外実学研修⑤特別ゼミ⑥就職			
	2-8 意思決定システムは確立されているか		学校がもっとも大切にしていることとして、滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用と人材育成を行い、様々な研修において目標達成に向け、スタッフのスキル面とメンタル面の向上を図り、また誰かわるすべての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。	またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		また、滋慶学園グループ共通システムである専門学校基幹業務システム(ASシステム)により管理・運営している。学生情報や教務管理、財務情報などの管理を行っている。	またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	本校の目的である職業人教育は「専門職業教育」に大別しており、常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えている。業界の動向を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。	本校は、平成14年の開校以来、専任教員の目標として、1.第一専門職への就職率100%(就職対象者)2.退学率 0%(入学者は全員卒業してもらう)を掲げ、その達成のために構築した2つの必要なシステムを構築している。	3.00	SNSセミナーとアドベンチャープログラムは継続を下して下さい。サークル活動、クラブ活動を支援してください。4年制と2年制の違いを明確にして、企業にももっとアプローチが必要。天王寺動物園見学会は、元園長の方に案内してもらい学生は勉強になったと思います。高等学校側としては「専門学校進学時に注意しているのはミスマッチをいかに避けるか」ということです。入学前のキャリア形成に力を入れていた方がいいです。専任教員だけでなく兼任教員にもおこなってはどうか。公立高校では非常勤への研修が不十分な点が課題となっております。	
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか		独自の「産学協同教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と連携することなく、業界で必要な人材を業界と共に育成、輩出できている。教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで体系的に編成されているが、常にバイオスフェア教育部会等を通じて研究、見直し等を行っている。	第1のシステムは入学前自己発見-自己変革-自己確立という、自己段階教育と動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。			
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか		カリキュラムは学科に問われないもののみならず、社会的・職業的自立を目指す「キャリア教育」の視点に立ったものもなっている。授業内容の改善、講師の資質向上、教授法の向上等を目的とし、授業評価アンケートを実施している。これは講師や学生の状況を正確に把握し、総合的判断をするための大きな材料となっている。また、必要な教員を確保できるよう、総合的に努めている。	第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識・ビジネスマインド等を身につけるための教育システム「産学協同教育システム」である。これには、次の8つが挙げられる。①企業プロジェクト②ダブルメンジャーカリキュラム③業界研修④海外実学研修⑤特別ゼミ⑥就職			
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けがされているか		成績評価の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、柔軟な対応ができる余地を確保することで、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できるサポート体制となっている。	またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか		資格取得については潜水士など、業務を行う上で必要な資格、就職に有利な資格という範囲で取得に向け、支援を行っている。	またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか			またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	3-16 育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか			またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか			またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
	3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか			またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。			
3-19 資格取得の指導体制はあるか		またEEO系全校の教務部から構成される「バイオスフェア教育部会」を設置し、育成人材像から教育内容(カリキュラム)、教材等々の見直し、開発など、スクールメリットを活かした教育内容の向上を図っている。					

<p>4 教育 成果</p>	<p>4-20 就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専任就職率）の向上が図られているか</p> <p>4-21 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>4-22 退学率の低減が図られているか</p> <p>4-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p>	<p>3</p>	<p>教育成果は目標達成の努力の結果であるが、本校では就職希望者全員就職、退学者0名を教育成果の最終目標に学校運営を行っている。</p> <p>就職では、開校以来就職希望者全員を達成しているが、専任就職率の向上を課題として、様々な動物分野の会社説明会を積極的におこなっている。</p> <p>退学率では、開校以来様々な取り組みの努力の結果、2019年度は3.7%（全校退学率）となり、今後も学生個々の徹底したフォロー・カリキュラムの工夫・担任・副担任制度の強化、学生カウンセリングの強化、出欠管理システム活用等を実施し、退学率0%達成に向け、努力を継続している。</p> <p>教育成果の一つである就職は、専任就職率の向上を目指して取り組んでいるが、年々在校生の各分野への興味も多様化していること、奨学金貸与学生の増加などを受け、幅広い収入・情報の拡充を向け方を入れているとともに、学生ひとり一人の現状を踏まえた支援をおこなっている。</p> <p>退学率では、学習意欲が低い、持久性が低い、抑鬱感が高い学生などが増えて来ており、その対応に苦慮する面も多々あるが、社会人となるための基本である「働く意識」の確立や基礎学力の習得、スクールカウンセラーとの連携などの取り組みをおこない最終目標である退学率0%に向けさらなる努力を重ねたい。</p>	<p>2.83</p>	<p>SSC便りのよい飲みですでの継続をしてください。</p> <p>学生に対してサクセスフォーメーションで自ら勉強させられることがい。</p> <p>動物取扱責任者取得等するために実動動物看護師が必要になるため、もっと学料を上げてみてはいかがでしょうか。</p> <p>退学率に関しては非常に難しい問題だと思います。特に1年生に関しては自分も含めたい業界と知り退学する方もいると思います。そこはいろんな系列の学校でサポートしあえるシステムがあるとよいと思います。</p> <p>高い国家資格の合格率はすばらしいです。</p>
<p>5 学生 支援</p>	<p>5-24 就職に関する体制は整備されているか</p> <p>5-25 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>5-26 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>5-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-29 学生祭等、学生の生活環境への支援はおこなわれているか</p> <p>5-30 保護者と適切に連携しているか</p> <p>5-31 卒業生への支援体制はあるか</p>	<p>2</p>	<p>学生が目標を達成するためには、学業の面と生活環境の両面から環境を整備していくことが必要だと考え、しかし、支援はあくまでも支援である。例えば、健康の維持は学業目標達成には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。</p> <p>学生支援には、① 学生生活 ② 健康 ③ 学費 ④ 保護者との連携 ⑤ 学業 ⑥ 就職・キャリア ⑦ 卒業支援などの分野で行っているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者を選んでいる。</p> <p>① 学生生活については、各担任を中心に、別途精神的ケアのためのSSC(スチューデント・サービス・センター)という悩みや相談を受ける専門部署を置き支援し、学業と併せて中途退学にならないよう支援している。</p> <p>② 健康については、1年毎に健康診断をおこない、病気の早期発見に努めている。</p> <p>③ 学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費面でのサービスをアドバイスするファイナンシャルアドバイザーにより支援している。</p> <p>④ 保護者連携については、入学者、そして入学後についても保護者会を開催し、本校の取り組みへの理解と、現状報告を行い、目標を共有し、学校と保護者が連携して学生の支援が行える体制作りを整えている。</p> <p>⑤ 学業については、担任が授業の出席状況などを逐一把握し、声掛けをしている。また各授業を受け持つ講師との連携も徹底し、学生の動向を把握、支援している。</p> <p>⑥ 就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、誘致、面接他各種指導などの支援をしている。</p> <p>⑦ 卒業支援については、キャリアセンターが事務局となって実施する同窓会等をおこない生涯にわたって支援を継続している。</p>	<p>2.66</p>	<p>同窓会活動に注力をして下さい。</p> <p>健康診断の再検査の受診率を上げる試みをしてください。</p> <p>遠方から引っ越しをして入籍している学生が、学生同士でしれどいと思えます。</p> <p>学生支援の厚いマニュアルがあることに驚きました。先の方が困ったときにマニュアルで基本を確認できるのは良いと思いました。</p> <p>学校独自の奨学金制度があってもいいのではないかと思います。</p>
<p>6 教育 環境</p>	<p>6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか</p> <p>6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>6-34 防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>施設・設備、機材等は業界で即戦力となり得る人材を育成するためのものであり、最新・最良のものを完備する考えで運営しており、教育上、充分な対応ができていると考える。毎年事業計画に基づいた予算を計上し、業界の変化に対応した設備・機材の更新が出来ている。</p> <p>業界研修(インターンシップ)においては、企業側と綿密な連携をとり、十二分な学習環境を設定している。また、海外実習研修では、それぞれの特長において大きな学習効果の得られる教育機関と企業と連携し、ワークショップを行っており、充分な教育体制を整備していると考え。</p> <p>本校では、教職員が常に災害を意識している。毎年、教職員、学生の防災訓練を実施し、地震や火災、火災等の際の避難訓練経路を確認するなど、防災体制を確立し、チェックしている。</p>	<p>2.66</p>	<p>災害時における飼育動物の管理マニュアルは作るだけに終わらず、いざというときに活用できることが大切だ。</p> <p>海外留学研修の前に短期的海外旅行に行かせられたら理想だと思います。英語の授業は充実していると感じます。</p> <p>高校側からの若狭いとしてはのや権高だけではなく一般校も預けていただきたいと思います。</p> <p>施設維持の必要もあり学費が高くなるのは仕方ないかもしれませんが、やはり高いです。成績優秀者に奨学金などがいいと思います。</p>
<p>7 学生 の 募集 と 受け 入れ</p>	<p>7-35 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>7-36 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>7-37 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか</p> <p>7-38 学納金は妥当なものとなっているか</p>	<p>3</p>	<p>本校は、愛知県専門学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集人数(入試等)を遵守している。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は掲載数字を記載するなど、適切な学校募集ができるよう配慮している。</p> <p>さらに、広告倫理委員会を設置し、広報活動の適切さをチェックしている。広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して、学校告知を徹底し、教育内容を正しく知らせてもらうよう努めている。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・出願・新入生の個人情報等本校に関わるもの個人情報には、校内に個人情報委員会を設置し、厳密に管理し、流出及び他目的に使用しないよう、管理の徹底を図っている。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考会議」により、合否を決定する。</p> <p>なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりと示されているかを重視する点にあり、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、書類試験を行うものではない。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。</p> <p>保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>2.83</p>	<p>学校運営への私学助成金への申請と公表への活動を継続して下さい。</p> <p>動物園水族館ツアー専攻は今年度はあるのですが、まだまだ広がる専攻だと思っています。前期だけではなく運営面が広げます。就職先の幅が広がる専攻としてのスキルアップ、資格があれば面白いのではと思っています。</p> <p>高校側からの若狭いとしてはのや権高だけではなく一般校も預けていただきたいと思います。</p> <p>施設維持の必要もあり学費が高くなるのは仕方ないかもしれませんが、やはり高いです。成績優秀者に奨学金などがいいと思います。</p>

<p>8 財務</p>	<p>8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>8-40 予算・収益計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>8-41 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>8-42 財務情報公開の体制整備はできているか</p>	<p>3</p>	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。その中で予算（収支計画）は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p> <p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広範・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校・学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に対応した予算編成となっており、健全な学校運営ができていていると考える。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供する目的に、第三者による監査法人が法人とは独立した計画書類が適切かどうかを監査することを意味する。</p> <p>平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これを迅速に取り組み、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報を公開している。</p>	<p>3.00</p>	
<p>9 法令等の遵守</p>	<p>9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>9-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>9-46 自己点検・自己評価結果を公開しているか</p>	<p>3</p>	<p>法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。</p> <p>法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会を学校運営が適切かどうかを判断している。現状では、学校運営（学科運営）が適切かどうかは次ぎの各調査等においてチェックできるようにしている。</p> <p>① 学校法人調査 ② 自己点検・自己評価 ③ 学校基礎調査 ④ 専修学校各種学校調査等である。</p> <p>(A) 組織体制 ① 財務情報公開体制（学校法人） ② 個人情報管理体制（滋慶学園グループ） ③ 広告倫理委員会（滋慶学園グループ） ④ 進路変更委員会（滋慶学園グループ）</p> <p>(B) システム（管理システム） ① 個人情報管理システム（滋慶学園グループ） ② 建物安全管理システム（滋慶学園グループ） ③ 防災管理システム（滋慶学園グループ） ④ 部品購入期動システム（滋慶学園グループ） ⑤ コンピュータ管理システム（COMグループ）</p> <p>滋慶学園グループ、滋慶学園COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健全な学校（学科）運営ができるようにしている。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準に対応する体制作りは完全に整備できている。</p> <p>今後自己点検・自己評価の結果についても積極的に公開していく。</p>	<p>3.00</p>	<p>「ITリテラシー」の教員用テキストもあり、しっかり取り組みをされています。</p>
<p>10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>10-47 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</p> <p>10-48 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p>2</p>	<p>滋慶学園グループの「職業人教育を通して社会に貢献する」を実現するために3つの建学の理念を实践し、「4つの信頼」①「学生・保護者からの信頼」②「高等専修学校からの信頼」③「業界からの信頼」④「地域からの信頼」を得るコンセプトがあり、この4つの信頼の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。</p> <p>業界企業や団体、あるいは中学校・高等学校等の教育機関とタイアップして行う出張授業支援、またスタッフは高等専修学校へ向けて行う特別講義等では、「高等専修学校からの信頼」に繋がっている。また、地域の方々が主催するイベント運営やスタッフ参加をするなど、「地域からの信頼」につながる努力をしている。</p> <p>滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動で節電、冷房温度28度設定、階段利用（アップダウン）や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等を行っている。これらの教育活動を通して「学生・保護者の信頼」につながるよう努力している。特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことが、すなわち社会貢献を果たすことに繋がっていると考えている。</p> <p>ボランティア活動についても奨励しており、学生便覧にも規定している。</p>	<p>2.16</p>	<p>公園清掃・管理、イベント協力などの地域支援をもっと活発におこなってほしい。社会貢献につながるような授業を積極的にこなってほしい。学生が一人ひとりボランティアができるのが理想でしょうか。又は学生自ら企画できるとさらにいいと思います。</p>